

## 記入内容の確認

1 内容入力

2 確認

3 完了

この内容でよろしければ、画面下のボタンを押してください。

氏名

※必須

超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会 会長・青山友紀

氏名フリガナ

※必須

ちょうこうそくフォトニックネットワークかいはつすいしんきょう

都道府県

東京都

電話番号

※必須

03-3351-8155 例：000-000-0000

FAX番号

03-3351-1624 例：000-000-0000

メールアドレス

PIF\_Photonic@scat.or.jp

職業

その他

ご意見の箇所

※必須

II. 1. 基本方針

(ページ)

8-21 ページ

ご意見 (1000文字以内)

※必須

2大イノベーションとして掲げられているグリーン・イノベーションとライフ・イノベーションに加えて、さらに情報通信(ICT)イノベーションを含む3大イノベーションを国家戦略の柱とすべきである。高度成長期に「電子立国日本」を国是として以来、営々と培ってきた情報通信とエレクトロニクス技術(ICT)は、現代の社会基盤の一翼を担ってきた。全産業の約1割を占めるICT産業が、もし今後グローバルビジネスで生き残れずに縮小することになれば、国力の低下は免れない。現状を見れば、韓国・中国の追い上げが急であり、また米国やEUは依然として巨額の公的資金を研究開発に投入している。我が国では企業も研究開発投資への余裕はなくなっている中で、今後研究開発への公的資金投入を削減し続ければ、ICT産業は早晩国際競争力を失い、世界市場からの撤退を余儀なくされるであろう。ICTはグリーン&ライフ・イノベーションの『礎』でもある。グリーン・バイ・ICTはグリーン・イノ

バージョンに大きなインパクトをもたらすことが出来る。また、ライフ・イノベーションにおいては、情報通信ネットワークの利活用によって安心・安全を増進できる。例えば、遠隔医療における手術やX線画像診断には超高精細画像伝送の、高齢者には日常の健康チェックを可能にするセンサーや介護ロボットのネットワーク化が求められている。ICT自体にも解決すべき課題が山積している。クラウドコンピューティングが近い将来に社会のコモディティとなれば、データセンターの大電力消費は深刻な問題となる。1つのデータセンターで原発1基分の電力を消費している現状を、世界に誇る『オール光化技術』を駆使し革新的なブレークスルー技術を創出することによって解決でき、同時に世界に先駆けてグリーンデータセンターで世界市場を席卷するチャンスが生まれる。ICTの革新的技術の継続的な研究開発に加えて、勝てるビジネスモデルの創出による戦略的事業遂行が必要である。我が国は高い技術力を有するにも関わらず世界市場での存在が低下し、『ガラパゴス現象』と称される状況に陥っている。これを脱却するためには、基礎・基盤研究から実用化の間に存在する『死の谷』を渡る架け橋となる方策が必要である。大学・国立研究機関に存在する『知の泉』から優れた技術シーズを汲み上げ、スピーディに商用に移行する産官学連携のスキーム作りが求められている。

[◀◀ 修正](#)[▶▶ 以上の内容で送信する](#)[ページの先頭へ](#)

Copyright © 2006 Cabinet Office, Government of Japan. All Rights Reserved.